

NR JAPAN SOCIETY OF NURSING RESEARCH

ニュース・レター

No.25
September
2017一般社団法人 日本看護研究学会
中国・四国地方会

ごあいさつ 運営委員長 内田宏美（島根大学医学部看護学科）



中国・四国地方会運営委員長を拝命して1年。全てが30周年記念事業を中心に回った1年だったように思います。

30周年記念誌には、設立以来の全運営委員長、全学術集会実行委員長に、当時の状況や思い出の投稿をお願いしましたが、先人の足跡を辿ることで、本地方会が我が国の看護の発展に大きく寄与してきたことを改めて実感した次第です。また、事務局では、教室員や院生を総動員して、30回分の学術集会抄録の演題の分析を行い、その一部を学術集会でも報告させていただきました。年を追うごとに研究のレベルがどんどん向上しており、研究を通して看護が学問として位置づけられていく様が手に取るように分かる、貴重な経験をさせていただきました。

な経験をさせていただきました。

節目となる第30回学術集会は、岡山大学の深井喜代子実行委員長の下、3月19日に岡山市コンベンションセンターで開催されました。記念講演では、本地方会を設立当初からリードされてきた中西純子先生に本地方会の30年の歩みを概説していただいた後、深井喜代子先生に未来を志向する本地方会のあり方を論じていただき、本地方会の過去・現在・未来を、一つの太い流れの中でとらえ直すことができたのではないかと考えております。

さて、怒涛の30周年の年が過ぎ、平成29年度は、新たな節目のスタートを切る年と位置づけられます。「温故知新」。30年の土台の上に、次の10年、20年を見据えて、柔軟な姿勢で地方会の運営に当たりたいと思うこの頃です。

第30回学術集会が岡山で開催されました

実行委員長 岡山大学大学院保健学研究科 深井喜代子

去る3月19日に日本看護研究学会中国・四国学術集会を主催させていただきました。本地方会設立から30周年を迎えた区切りの学術集会でしたが、会員外、地区外の方々を含め230名余もの参加者を得て、無事終えることができました。これもひとえに内田委員長はじめ運営委員会の方々、企画段階から長期にわたり活動くださった役員各位、さらには企業様や県の観光関係団体の皆様のご支援の賜です。地方会とはいえ多くの企業様からのご協力が得られたことも幸運でした。

さらに、久しくお目にかかることの無かった、かつての地方会役員の方々もわざわざ駆けつけてくださり、温故知新に浸った1日でもありました。

講演の中で提案させていたように、これからは会員一人ひとりが魅力ある地方会を創造していく時代です。中国・四国地方会という場と機会を利用して、研究活動に励もうではありませんか。謝辞と提言をもってご挨拶の言葉と致します。ありがとうございました。

第30回学術集会に参加して

香川県立保健医療大学保健医療学部看護学科 植原千明

平成29年3月19日に岡山県で開催された日本看護研究学会中国・四国地方会第30回学術集会に参加させていただきました。

学術集会に参加させていただくまでは、研究者歴が浅い私にとって、本会のテーマであった「看護学研究におけるグローバル化」は難しい内容だと感じていました。しかし、近藤麻里教授の「国際看護と看護研究」の公聴や多くの熱意ある口演・示説発表を通して、単に研究を行うのではなく、自分の研究や行動をどう推進すべきか、しっかり見据えることの必要性を学びました。それには、世界や社会状況を正しく理解することも必要だと学びました。

また、前日には、グレッグ美鈴教授のプレカンファレンスセミナー「学術論文を英語で書くということ」にも参加させていただきました。英語で論文を書くことの意義や書く際のポイントだけでなく、研究にご協力いただいた対象者のためにも、研究を論文として完成させる大切さを改めて痛感いたしました。

今回の学術集会では、示説発表で初めて発表もさせていただきました。大変学び多い2日間となりました。ありがとうございました。

●平成 28 年度事業報告●

1. 会員数

平成 28 年 4 月 1 日現在 1010 名

2. 第 30 回学術集会開催

実行委員長：深井喜代子 先生（岡山大学）

日 時：平成 29 年 3 月 19 日（日）

場 所：岡山コンベンションセンター

テーマ：「実践と共同で推進する看護学研究におけるグローバルセッション」

演題数：44 題

参加者：233 名

3. 平成 28 年度総会開催

日 時：平成 29 年 3 月 19 日（日）11:30～12:00

場 所：岡山コンベンションセンター コンベンションホール西

4. 委員会報告

1) 運営委員会

(1) 第 1 回運営委員会会議

（平成 28 年 8 月 20 日（土）、つくば国際会議場）

①第 29 回学術集会（高知）の報告

②運営委員会体制の一部変更

③第 32 回学術集会：香川県立保健医療大学

（実行委員長：國方弘子先生）

④第 33 回学術集会：徳島文理大学

⑤第 30 回学術集会準備状況

(2) 第 2 回運営委員会会議

（平成 29 年 3 月 18 日（土）、岡山コンベンションセンター）

①平成 28 年度事業報告

②平成 28 年度会計報告、監査報告

③第 31 回学術集会準備状況

④第 33 回学術集会：徳島文理大学

（実行委員長：吉永純子先生）

⑤30 周年記念事業

⑥その他：学部学生の演題発表資格について

2) 学術委員会

(1) 第 1 回学術委員会会議

（平成 28 年 8 月 20 日（土）、つくば国際会議場）

①学術集会のプログラムがタイトであるため、第 30 回学術集会（岡山）における学術セミナーは実施しないこととした。

3) 広報委員会

(1) 平成 28 年度ニュース・レター No.24 を 9 月に発行、会員 1024 名に送付した。

4) 30 周年記念事業

(1) 記念講演：岡山大学の深井喜代子先生に、講演を依頼した。

(2) 記念誌：歴代運営委員長、学会理事長、歴代学術集会実行委員長、深井喜代子先生の記念講演、野島良子先生等に原稿を依頼する。

(3) 予算：ロイ基金から 60 万円を記念事業の資金として充てることが了承された。

●平成 28 年度会計報告●

【収入の部】

（単位：円）

費 目	28 年度予算	28 年度実績	差異
前年度繰越金	57,852	57,852	0
地方会補助金	509,000	505,000	- 4,000
平成 27 年度オンライン 選挙事務費用補助金	419,765	419,765	0
第 29 回学術集会返金		40,366	40,366
雑収入	80	57	- 29
合 計	986,697	1,023,040	36,343

【支出の部】

（単位：円）

費 目	28 年度予算	28 年度実績	差異
郵送費	100,000	93,656	- 6,344
事務費	37,000	8,940	- 28,060
人件費	10,000	10,000	0
各種委員会活動費	50,000	61,140	11,140
印刷費	62,000	127,704	65,704
記念事業等積立金	100,000	100,000	0
学術集会支援金	150,000	150,000	0
選挙費用	0	0	0
予備費	36,000	0	- 36,000
次年度への繰越金	441,697	471,600	29,903
合 計	986,697	1,023,040	36,343

●30 周年記念事業報告●

中国四国地方会設立 30 周年記念事業の一つとして、第 30 回学術集会におきましては本地方会の第 3 代代表である深井喜代子先生に「地方会学術活動 30 年の軌跡から展望する看護研究のこれから」と題する記念講演を戴きました。また、その前段には本地方会の活動の歩みを振り返り、他の地区に先駆け地方会ならではのユニークな活動をしようと 1986 年近畿・四国地方会として発足、同年第 1 回学術集会を京都で開催して以来、途中、中国四国地方会と近畿北陸地方会への分離、分離後の合同活動時期を経て、第 30 回学術集会を迎えた歴史ある地方会であることを報告致しました。（運営委員会副会長：中西純子）

●委員会より●

【広報委員会】

ニュースレター No.25 では、中国四国地方会設立 30 周年という記念すべき年の活動報告および新たな一歩を踏みだす平成 29 年度の活動計画、第 31 回地方会学術集会（山口）についてご案内致します。また、平成 30 年度には地方会運営委員選挙（3 年毎に各県の運営委員を選出）が予定されていることのお知らせ致します。（委員長：吉本知恵）

●平成 29 年度事業計画●

1. 第 31 回学術集会開催
 実行委員長：田中マキ子先生（山口県立大学）
 日 時：平成 30 年 3 月 4 日（日）
 場 所：山口県立大学看護栄養学部棟
 2. 平成 29 年度総会開催
 日 時：平成 30 年 3 月 4 日（日）
 場 所：山口県立大学看護栄養学部棟
 3. 委員会活動
 - 1) 運営委員会
 - (1) 第 1 回
 日 時：平成 29 年 8 月 29 日（火）
 場 所：日本福祉大学東海キャンパス内
 - (2) 第 2 回
 日 時：平成 30 年 3 月 3 日（土）
 場 所：山口県立大学看護栄養学部棟
 - 2) 学術委員会
 - (1) 第 1 回
 日 時：平成 29 年 8 月 29 日（火）運営委員会終了後～
- 場 所：日本福祉大学東海キャンパス内
- (2) 第 2 回
 日 時：平成 30 年 3 月 3 日（土）運営委員会終了後～
 場 所：山口県立大学看護栄養学部棟
- 3) 広報委員会
 - (1) 平成 29 年度ニュース・レター No.25 を 9 月に発行、会員約 1000 名に送付する。
 - (2) 第 1 回
 日 時：平成 29 年 8 月 29 日（火）運営委員会終了後～
 場 所：日本福祉大学東海キャンパス内
 - (3) 第 2 回
 日 時：平成 30 年 3 月 3 日（土）運営委員会終了後～
 場 所：山口県立大学看護栄養学部棟
4. その他
 - 1) 30 周年記念誌編集委員会
 「中国・四国地方会設立 30 周年記念誌」を 8 月に発行し、会員に配布する。

●平成 29 年度予算●

【収入の部】 (単位：円)

費 目	28 年度実績	29 年度予算案	差 異
前年度繰越金	57,852	471,600	413,748
地方会補助金	505,000	505,000	0
平成 27 年度オンライン選挙事務費用	419,765	0	- 419,765
第 29 回学術集会返金	40,366	0	- 40,366
雑収入	57	57	0
合 計	1,023,040	976,657	- 46,383

【支出の部】 (単位：円)

費 目	28 年度実績	29 年度予算案	差 異
郵送費	93,656	100,000	6,344
事務費	8,940	10,000	1,060
人件費	10,000	10,000	0
各種委員会活動費	61,140	60,000	- 1,140
印刷費	127,704	82,000	- 45,704
記念事業等積立金	100,000	100,000	0
学術集会支援金	150,000	150,000	0
選挙費用	0	0	0
予備費	0	10,000	10,000
次年度への繰越金	471,600	454,657	- 16,943
合 計	1,023,040	976,657	- 46,383

●特別会計（記念事業等積立金）●

【収入の部】 (単位：円)

費 目	28 年度実績	29 年度予算案	差 異
前年度繰越金	590,734	1,208,190	617,456
当年度積立金	100,000	100,000	0
雑収入	55	55	0
ロイ基金より移し替え	600,000	0	- 600,000
合 計	1,290,789	1,308,245	17,456

【支出の部】 (単位：円)

費 目	28 年度実績	29 年度予算案	差 異
事業費	70,308	0	- 70,308
印刷費	6,480	658,800	652,320
郵送費	5,163	225,500	220,337
事務費	648	3,000	2,352
人件費		50,000	50,000
委員会活動費		95,000	95,000
予備費		275,945	275,945
次年度への繰越金	1,208,190	0	- 1,208,190
合 計	1,290,789	1,308,245	17,456

●事務局だより●

昨年度は、事務局担当大学として、地方会設立 30 周年の節目に 30 回分の学術集会の発表演題の分析を担当し、その結果を学術集会で報告させていただきました。開設 30 年を迎えた中国・四国地方会の発展が、先人の方々の弛まぬ活動と多大なご尽力の賜物であると実感した次第です。本地方会が若手研究者の育成・支援を重点課題としている理由も肯けました。翻って、私自身が諸先輩のご期待に応えてきたであろうか、我が身を振り返る機会となりました。諸先輩の意思を引き継ぎ、地方から発信して看護学の発展のために貢献できるよう、一歩を踏み出していきたいと思ひます。引き続きご支援よろしくお願ひいたします。（事務局：福間美紀）

一般社団法人日本看護研究学会中国・四国地方会第31回学術集会のご案内

平成30年3月4日(日)に公立大学法人山口県立大学において、第31回学術集会を開催させていただき運びとなりました。本学は少し交通の便が悪いところに立地しますが、アクセスが少しでもよくなるよう工夫するなどし、多くの皆様方がお越しいただけるよう準備してまいります。また、学生セッションも設けますので、大学院生はもちろん学部学生にあって積極的に演題への応募・学術集会へのご参加をお待ちしております。“おいでませ、西の京山口へ”

実行委員長 田中マキ子(山口県立大学看護栄養学部看護学科)

■テーマ：看護研究 ― 質的・量的アプローチの妙味 ―

会 期：2018年3月4日(日) 9:00～16:00

会 場：山口県立大学看護栄養学部看護学科棟
(北キャンパス5号館・6号館・2号館一部)
山口県山口市桜島6-2-1

●鉄道をご利用の場合

[九州方面、関西方面から]

新幹線 新山口駅でJR山口線に乗り換え、宮野駅下車
徒歩10分

[益田方面から]

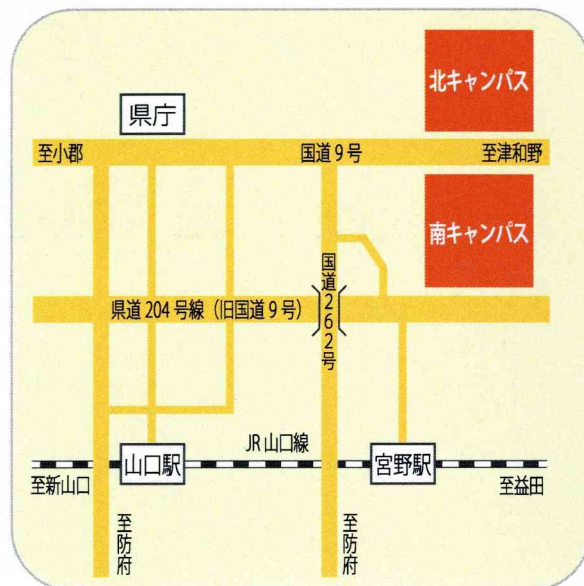
JR山口線宮野駅下車徒歩10分

●バスをご利用の場合

新山口駅から防長バス県立大学バス停下車徒歩7分

●車をご利用の場合

山口インターチェンジから国道262号で山口方面へ



■プログラム

○鼎談

テーマ：「看護研究 ― 質的・量的アプローチの妙味 ―」

川口孝泰氏 東京情報大学看護学部、日本看護研究学会理事長

木下康仁氏 立教大学社会学部教授

田中マキ子 山口県立大学看護栄養学部教授

○一般演題(口演・示説)

学生セッションを設けます。

○ワークショップ

テーマ：質的データ分析における最初の躓きを突破する：分析ワークシートの書き方(仮)

講師：木下康仁氏 立教大学社会学部教授

○懇親会 2018年3月3日(土) 18:00～20:00

会場：セントコア山口(参加費 5,000円) *会場が変更になるかも知れません

中国・四国地方会第31回学術集会事務局

公立大学法人山口県立大学看護栄養学部看護学科 張替直美

〒753-0021 山口県山口市桜島6-2-1

連絡先 TEL/FAX:083-933-1464(直通 担当：石田) E-mail: jsnrcs31@gmail.com

備考) 詳細は10月中旬に発送予定の学術集会案内でお知らせします。

第31回学術集会ホームページ <http://31jsnrcs.sub.jp> 内容は、漸次更新しております。

発 行 〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1 島根大学医学部看護学科内
一般社団法人 日本看護研究学会 中国・四国地方会事務局
発行責任者 運営委員長/内田宏美 広報委員長/吉本知恵

